

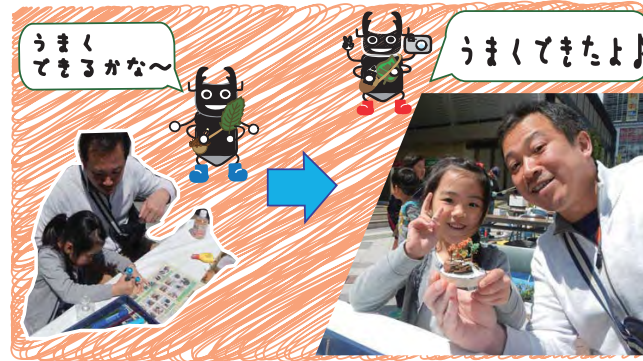
都市と森のつながりを実感!! 「水源の森ジオラマ」づくり —みどり生き生き みのお生き生き 体験フェア in 千里中央—

豊中市の千里中央・せんちゅうパル北広場で4月29日(祝)「みどり生き生き みのお生き生き 体験フェア」が開催され、多くの市民がビルに囲まれた専門店街に出現した「箕面の森」を体感しました。箕面森林ふれあい推進センターでは、きんきちゅうごく森林づくりの会のスタッフの応援を得て、「水源の森ジオラマ」づくりのブースを出展し、水源かん養機能など、森林と日常生活とかかわりについて情報発信しました。

このフェアは、NPO法人みのお山麓保全委員会が主催し、里山の自然の魅力をアピールし、箕面の森林での市民参加活動の機会を広げることが目的です。箕面の森で森林整備等に活動する市民グループなど13団体が出展し、家族連れらが、自然素材を使った工作体験、竹ぼっくり・竹てっぽう体験などに挑戦しました。

当センターの「水源の森ジオラマ」には親子連れなど80名あまりが訪れ、ケヤキの樹皮やイタドリ茎の先など自然素材を使って、自分で作った小さな森の出来映えを満足そうに眺め、本物の森林と自分たちの生活のつながりに思いを馳せていました。

箕面国有林で取り組んでいる「オオクワガタの棲める森づくり」の里山整備については、ほとんどの参加者に知られていませんでしたが、「子供のためになる良い活動だ」との声を頂戴するなど、森について一緒に考えることができました。



あなたが感動し、伝えたい、森林での発見! 森林での体験! 木材との触れあい

山の日(6月1日)創設記念
平成28年度
森林と木材!
フォトコンテスト

作品募集
1. 森林で見つけた動植物(昆虫・動物・植物)
2. 森林での体験・活動(里山整備、森林環境教育など)
3. 木材と人との触れあい(木材や木製品、木造建築など人との触れあい)

募集期間
平成28年6月1日(水)~平成28年8月28日(日)9時~18時

表彰
近畿中国森林管理局長賞(3作品) 木製の賞状と副賞
優秀賞(3作品) 木製の賞状と副賞

応募問合せ先
林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:050-3169-6145 FAX:06-6881-2055
HP: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/ E-mail: kc_furui@maff.go.jp

募集チラシ↓

①森林で見つけた動植物(昆虫・動物・植物)
②森林での体験・活動(里山整備、森林環境教育など)
③木材と人との触れあい(木材や木製品・木造建築などと人との触れあい)
①から③のいずれかの部門に沿った、感動し伝えたい森林や木材への想いなどをデジタル組写真(A4判・2枚1組または3枚1組)とコメント・メッセージ(200字程度)を募集します。
受賞した6作品の表彰式・発表会は平成28年10月2日(日)水都おおさか森林の市会場【近畿中国森林管理局1階】で行います。
募集の詳細内容はチラシ、ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/ をご覧ください。

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/



森の中でリラックス！森の癒やしを体感！ ＝みのお森のセラピー＝

5月29日(日)、大阪市内などから来られた14名の皆さんが、大阪府箕面市の箕面国有林で、「みのお森のセラピー」を体験しました。

雨の心配もありましたが、朝は気持ちのよい陽射しも浴びながら始めることができました。最初に、参加者の皆さんの体調チェックが行われ、そのあと三班に分かれて、セラピーアシスターと一緒に森の中へ…

植物に目をとめたり、虫眼鏡を使って拡大して見たり、いろんな葉っぱに触って感触の違いを感じたり、樹々の中で寝っ転がって瞑想したり、五感で感じることに体験に「すっかり心身がリラックスした」「とても安心して過ごせて感謝です」「また来たい」など、参加者の皆さんから、森での癒やし・セラピー効果を感じたとの感想を多くいただきました。



このイベントは、近畿中国森林管理局が都市住民などに森林とのふれあいの機会を持ってもらうことを目的とした企画を公募し、NPO法人みのお山麓保全委員会が応募して協定を締結し、両者の共催で開催しました。

次回の共催イベントは、秋に予定しています。



入賞作品展示中!!森林の調査隊フォトコンテスト

大阪府吹田市の大阪大学医学部付属病院1階展示スペースで、7月2日までの期間、平成27年度森林の調査隊!!フォトコンテスト入賞作品を展示中です。来院された方や入院患者の方が、フォトコンテストの写真を楽しみにしておられることから、病院から作品展示の依頼を受けて、毎年展示を行っています。



配布中!森林の調査隊!!フォトコン入賞作品カレンダー



中はこんな感じです



今からでも使いやすい、4月はじまりのカレンダーです。撮影者が感動し、伝えたい森林での発見を是非ご覧になってください。

必要な方は、当センターにお問い合わせください。

※HPからダウンロードもできます



シカが森を食べ尽くしてしまう！ 地域が一体となった取組が求められています！

ニホンジカが個体数の増加と分布域を拡大し、全国で森林や農作物への被害が著しくなっています。このような中、箕面森林ふれあい推進センターの活動フィールド、大阪府箕面市の箕面国有林においても、シカが樹木の皮を剥ぎ、下層植生を食べてしまう等の被害が発生しています。このため、森林の生物多様性の衰退が進み、このままでは下層植生のない裸地へ移行すると土壌流出や土砂災害等のリスクも高まることが危惧されています。

この森林に深刻な被害を与えているシカの被害を防ぐため、地域の行政や市民が連携し、一体となった取組が求められています。

！ 箕面の森林のニホンジカによる被害の現状 ！



森林内の低木や下草が食べられてしまいました。
ヤブを好む生き物が棲めなくなります。



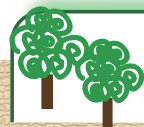
植生を食べ尽くしてしまいました。
森林が消え、土壌の流出が心配です。



シカが食べない植生だけが残りました。
森林生態系の衰退が進んでいます。



樹皮が剥がされてしまいました。
木が枯れてしまいます。



地域の関係者が一体となって対策に取り組んでいます



箕面国有林では、シカ被害対策を効果的に実施するため、当センターなど行政や市民などで構成する「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会（事務局：NPO法人みのお山麓保全委員会）」において、下記の基本的な4つの取組方針を決め、一体となって対策に取り組んでいます。箕面森林ふれあい推進センターにおいては、個体数管理とモニタリングを担当しています。

① 個体数管理（捕獲）

シカを適切な生息数にコントロール。
当センターが主体となって実施。



くくり罠の設置



くくり罠で捕獲したシカ

② 防護柵の設置

大切な植生を守るための緊急避難の対策。
市民団体が主体となって実施。



市民団体が設置



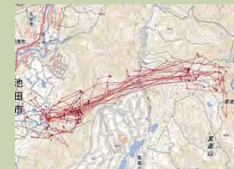
柵の設置により
柵内の植生が再生

③ モニタリング

対策の管理目標として必要なため。
研究機関、行政、市民団体が協力して実施。



シカの生息数と森林植生衰退
の関係を調査



当センターで行った
GPS 装着個体の移動経路

④ 市民への広報・啓発

市民団体が主体となって実施。当センターにお
いても、森林被害と対策について普及活動。



生物多様性研究フォーラム
で当センターから報告



小学校の森林教室で
シカ害対策を学習

トピック

近畿中国森林管理局の「森林のギャラリー」で、シカ害の状況
や対策、シビ工利用などの情報発信中です！！



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/



学校の授業に「森林」を取り入れよう！ ～箕面国有林での教員向け研修の取組～

箕面森林ふれあい推進センターでは、森林を活用した環境教育の理解を深め、学校等教育機関での実践・普及に取り組んでいます。普段の生活の中で森林と関わり、木材の利用などについて体験し、学ぶ機会を増やす必要があると考えています。このような中、箕面市内の恵まれた自然環境、とりわけ森林を学習に取り入れることが有効であると考えている同教育委員会と連携して、教員向け研修を平成16年から毎年実施しています。



7月28日(木)、箕面国有林勝尾寺園地において大阪府の箕面市教育委員会と共催して、森林環境教育研修を開催しました。研修には、箕面市と豊能町から30名(小学校18、中学校12)の教員が参加しました。箕面市では採用2年目教員の必修研修になっています。

「主体的・協働的な学び」に有効な森林環境教育

京都教育大学の山下宏文教授から、森林環境教育のポイント(体験する、知る、かかわる)。次期学習指導要領改訂の中で求められる「主体的・協働的な学び」として森林環境教育の有効性などについて講義。参加者から「箕面の身近な自然環境を活かした環境教育に取り組みたい」「5年生の授業で、具体的な指導に役立つ」等の意見。



京都教育大学の山下教授

子どもが「なぜ？」と思う『昆虫の不思議』

大阪府立箕面公園昆虫館の久留飛克明館長から、昆虫の胴体のこと、複眼のこと、羽のこと、飛び方のことなど昆虫の特徴や幼虫から成虫への変化のしかたの違いなど、子どもが「なぜ」と思う視点で参加者に問いかけ、昆虫のすばらしさと不思議さについて講義。参加者から「子どもたちに話してみたい内容が多かった」「なぜ？と疑問をもつことの大切さを学んだ」等の意見。



箕面公園昆虫館の久留飛館長

ネイチャーゲームを体験

大阪森林インストラクター会の指導で、自分の背中につけられた生き物の名前を相手に質問して推理する「動物交差点」、集めた葉っぱで勝負する「葉っぱじゃんけん」を行いました。参加者から、「子どもたちが自然にどんどん親しんでいく様子が思い浮かんだ」等の意見。



水源の森ジオラマづくり

森林と水との関係についての話を聞いた後、きんきちゅうごく森林づくりの会メンバーの指導で作成。参加者から「自然について勉強した後に作るので、より大切にしたい気持ちが強くなった」等の意見。



教育センターから環境教育の取組に感謝

プログラム終了後、箕面市教育センターの松田課長補佐から「身近なところで大変すばらしい箕面の森があることを知ってもらいたい。そして、教員研修が共催で長く続いているのは箕面森林ふれあい推進センターなど、協力体制があることも知ってもらい、子どもたちの環境教育に取り組んでもらいたい」と、実践への期待を込めた挨拶をいただきました。

箕面森林ふれあい推進センターでは、森林環境教育の学校での普及を図るため、この取組を今後も続けていく考えです。

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL: 06-6881-2013/FAX: 06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F
URL: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@maff.go.jp



「森林の調査隊!! フォトコンテスト」入賞作品決定! - 水都おおさか森林の市で発表 -

あなたが感動し、伝えたい森林(もり)での発見! 木材とのふれあい! をテーマとして、募集していた「森と木材!! フォトコンテスト」は、10月2日に近畿中国森林管理局周辺で開催された「水都おおさか森林の市」会場に入賞者を招き、入賞作品の発表会と表彰式を開催しました。会場には「ミス日本みどりの女神」飯塚帆南さんも参加され、華やかな式典となりました。

このコンテストは、「森林で見つけた動植物」や「森林での体験・活動」「木材や木製品・木造建築と人とのふれあい」を撮影した組写真とコメント・メッセージを募集していたもので、北は北海道から南は宮崎県から66作品の応募がありました。

入賞作品の選考は、只木良也氏(京都府立林業大学校長)、久山慶子氏(フィールドサイエティ事務局)、北田研策氏(写真家・宝塚大学特任教授)、近畿中国森林管理局長の4名の審査員により行われ、近畿中国森林管理局賞3点、優秀賞3点、審査員特別賞1点が表彰されました。

表彰式後には、入賞者がそれぞれの作品に込めた思いを発表しました。審査員からは「コンテストにふさわしいメッセージ性のある写真ばかりだ」「自然を知るのには写真は非常に有効な手段だ」「木材の言葉が加えられて、人と森との関係に一步踏み込んだコンテストになった」とのコメントがありました。入賞者からは「森とそこに暮らす生き物について考えさせられ撮影したことは価値観のスパイスになった」「森と人々との関わりの大切さを伝えることができた」という感想がありました。

当センターでは、入賞作品をカレンダーに編集してお配りしますので、皆さんお楽しみに!

入賞作品は、こだま通信84号又はふれせんHPをご覧ください。



近畿中国森林管理局賞を受賞された橋本さん(中央) 左: 馬場局長、右: ミス日本みどりの女神



審査員特別賞の矢田さんの発表



会場内には応募全作品を展示



北田審査員

久山審査員

只木審査員



水源の森 ジオラマ づくり



水都おおさか 森林の市 2016 に出席

午前と午後の2回に分けてジオラマづくりを体験してもらいました。「以前こちらで作ったジオラマ、今でも子ども達の机に飾ってあります。小さな水源の森の世界が現実にも反映されるよう、意識を高めていくきっかけになればと思います。」参加者からこんな声をいただき、スタッフの励みになりました。

近く前に森林と水との関係についてのお話しを聞きます。



おずかしいところは
やさしいお兄さんがお手伝い!



水都の森ジオラマコンテストは
3度目のリターンも...

ミス日本みどりの女神も挑戦!



本日の森のために
こまごた♡



小学生が箕面の森を探検！ ～森の中で、森について調べ！下級生に伝えた！～

平成28年10月21日(金)、箕面市立豊川北小学校の4年生76名が、箕面国有林「エキスポ'90みのお記念の森」で、箕面森林ふれあい推進センターのプログラム「森の探検隊」を体験しました。

「森の探検隊」は、「エキスポ'90みのお記念の森」内に設定された30箇所あまりのポイントから、あらかじめ参加者に選択してもらった5ポイントを巡り、各ポイントに設置された「指令書」の謎かけを解いていくことで、楽しみながら森の不思議等を学べるよう工夫されたプログラムです。事前に、子供たちは、「ポイント名」(例えば「耳をすませば」)、ポイントの概要などを確認し、まわるポイントを選択し、記録係やカメラ係など役割分担を決めておくなど準備をして臨みます。また、大阪森林インストラクター会の協力により、引率役として会員8名にお手伝いをいただきました。



この葉っぱはいい香りがするね！



ネットのむこうは草が生えているね！



オオクワガタはいるかな？

子供たちは元気いっぱい、ポイントでは「指令書」により森や自然について調べました。森の多様性や効能、楽しさなどを感じてもらえたのではないのでしょうか。



どっちへ行こうかな？



みんなで考え中…！



お世話になった森林インストラクターの皆さん

午後は場所を箕面ビジターセンターに移し、NPO法人みのお山麓保全委員会のメンバーの指導により「水辺の生き物調査」、「森の自然工作」、「ビジターセンター展示室見学」を体験し、「水辺の生き物調査」では、箕面川から採取したトンボの幼虫など昆虫類や小動物を観察し、森と川のつながりを学びました。ビジターセンター見学では、箕面の森の豊かさを実感してもらえました。



箕面の森には生き物がいっぱい！！



川の生き物！ハイ～！



どんぐりやまつぼっくりもあるね～
どれにしようかな？



森の自然素材で工作！

森で調べたことを下級生に伝えてくれました！ ～「森の探検隊」報告会～



11月22日(火)には豊川北小学校で子供たちによる体験報告会が行われました。子供たちは、模造紙を使って大きな新聞を作成し、自分たちが調べた森について、3年生に伝えました。

森の中で、自分たちで調べ、みんなで工夫して下級生へ伝えるという行動によって、森への関心は一層深まったことでしょう。これからも子供たちが山を楽しみ、森に関心を持って学べるプログラムになるよう改良につとめていきたいと考えています。



教諭を目指す大学生が箕面の森を探検！ ～大学との連携に期待～

11月5日(土)、大阪青山大学健康科学部子ども教育学科の学生38名が、箕面国有林「エキスポ'90みのお記念の森」で、箕面森林ふれあい推進センターが開発中の森林環境教育プログラム「森の探検隊」を体験しました。同プログラムは、主に子ども達が、森林内のあちこちにあらかじめ設置された「指令書」の設問を解いていくことで、楽しみながら森の不思議等を学べるよう工夫されたプログラムです。大阪森林インストラクター会と連携し、案内・助言役として同会員8名が大学生と一緒に森を歩きました。



同大学の子ども教育学科では、教諭を目指す学生が教育の現場等で役立つ知識を培う学習がされており、大学と当センターが連携・協力し、プログラムのさらなる充実のための実践・検証を行う目的で行いました。学生達は既にあるプログラムの体験をとおして、教諭目線で良かったところ、改善点、どのように改善するか等について検証し、発表してくれました。大学からは指導者としての取組の意識を持つことに効果があったと評価されました。センターでは、大学との連携により、同プログラムのさらなる充実とともに、森林環境教育の推進・普及に期待しています。



手のひらの「水源の森」に挑戦！ ～山とみどりのフェスティバル！に出展～



箕面の森の自然環境保全などの活動を行っている30の市民団体が、10月30日(日)、大阪府箕面市の箕面公園瀧安寺前広場に集まり、紅葉狩りやハイキングに訪れた多くの皆さんが、自然素材を使った工作や体験を楽しみました。当センターでは、きんきちゅうごく森林づくりの会のスタッフ3名の応援を得て、オオクワガタの棲める森づくりで実践している里山再生の紹介パネル、水源の森ジオラマづくりワークショップで出展し、63名の皆さんに手のひらの森づくりを楽しんでもらいました。参加者から「身近な材料で素敵なミニチュアを作り、自然や造形にもなじみができ、それでいて自然を大切にすることにも触れられた」という声をいただきました。



森の仕事を紹介！ ～YMCA学院へ出前授業～



12月5日(月)、大阪市のYMCA学院高等学校で3年生17名を対象に出前授業をしました。当センターが取り組んでいる里山再生や有害鳥獣被害対策などについて、学校の要望を受け、職業として携わっている視点で話をしました。都会の学生は、普段の生活でなじみが少ない森林の仕事に興味津々でした。



学校と森林体験活動団体が連携！持続可能な社会づくりの人材育成！ —「森林環境教育（森林ESD）活動報告・意見交換会」開催—

箕面森林ふれあい推進センターでは、1月28日(土)、大阪市北区の近畿中国森林管理局大会議室において、(公社)国土緑化推進機構及びNPO法人近畿環境市民活動総合支援センターと共催して「森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換」を開催しました。教員や企業関係者、森林体験活動指導者など90名余りが参加し、活発な意見交換がされました。

近畿中国森林管理局長あいさつ

本会は、森林内において学校の取組として、教育機関と地域団体等が連携・協働して取り組んでいる森林環境教育の多様な実践事例から学び、連携・協働のあり方やどのような視点で活動していくかの方向性をESDの視点から考え、成果の共有化・相互交流により、連携・協働の促進や活動の活性化を目的に開催しました。この会を契機に森林を活用したESDの活動・取組がさらに進展することを期待しています。



近畿中国森林管理局
馬場一洋局長

講演

講演について参加者からは、「土曜学習応援団について関心を持った」「学習指導要領の動きや文科省での支援対策など情報を知ることができた」「取り組む方向など理解が深まった」「ESDや森林環境教育の目的が理解できた」など、それぞれの講演から「学ぶことが多かった」との意見が寄せられました。



文部科学省生涯学習政策局 社会教育課 地域・学校支援推進室長 渡辺栄二氏
「地域と学校の連携・協働の推進について」
～幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(中教審答申)も踏まえ～
地域の人的・物質資源を活用していく「地域学校共同本部」「土曜学習応援団」など文部科学省として取り組む制度や支援内容を講演。



公益社団法人国土緑化推進機構 政策企画部課長 木俣知大氏
「これからの森林ESDの促進に向けて」
～「森林・林業基本計画」及び「学習指導要領」改訂に対応して～
「アクティブ・ラーニング」や「教科横断的」な教育が重視される中で森林ESDが期待されているとして、今後に向けた取り組みの考え方を講演。



京都教育大学 教育学部教授 山下宏文氏
「森林ESDのとらえ方」
森林ESDは、持続可能な社会の実現などの社会的課題や育成すべき資質・能力などを育てる教育的課題に対応できるものであると講演。

事例報告

事例報告ではそれぞれの事例について「地域の企業・NPO等」と「学校」の双方が発表し、成果と課題を見出すというスタイルで進めました。全体を通じ、自ら考え行動する人材の育成に当たって、森林での体験が有効であることを確認し、教育分野と森林関係者、それぞれの立場への理解が深まり、連携の重要性を共有しました。



意見交換

その後、参加者が8班に分かれて、「森林ESDの感想・疑問」「教育機関と地域団体等の連携・協働の課題」のふたつのテーマで、意見交換を行った後、森のギャラリー展示スペースで参加者同士の交流がされました。



事例報告団体等

- 事例1「河内小学校学校林活動」
NPO法人里山倶楽部 新田章伸(副代表理事)
河南町立河内小学校 内山裕生(教頭)
- 事例2「大津市立志賀中学校環境学習の取り組み」
大津市立志賀中学校 河野卓也(主幹教諭)
「志賀中学校1年環境学習7年間の変遷」
一般社団法人比良里山クラブ 三浦美香(代表理事)
- 事例3「水のつながりプロジェクト」
森と水の源流館 木村全邦
(連携先:川上村立川上小学校、橿原市立香久山小学校)
- 事例4「学校林の財産的価値の変容に対応した活用の仕方の検討に向けて」
下松市立米川小学校(米泉湖緑の少年隊) 村田泰伸(教頭)
米川地区教育造林振興会 安永槌男(会長)
- 事例5「地域に根ざす特色ある学校づくりをめざして」
庄原市立峰田小学校 池田周三(校長)
「アサヒの森」の適正な森林管理と地域との協働の活動
アサヒビール(株)アサヒの森環境保全事務所 田盛一男
- 事例6「箕面の森ってすごい!!だから、みんなに伝えよう!」
箕面市立豊川北小学校 上田泰稚(教諭)
「箕面『森の探検隊』の取り組み」
大阪青山大学 萩原憲二(准教授)
「箕面『森の探検隊』プログラムの取組」
大阪森林インストラクター会 金子讓(事務局長)
箕面森林ふれあい推進センター 柴田隆文





箕面森林ふれあい推進センターのキャラクター

編集・発行：林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋 1 丁目 8 番 75 号 近畿中国森林管理局内

TEL 050-3160-6745 FAX 06-6881-2055

ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

メールアドレス kc_fureai@maff.go.jp



この冊子は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています

